

(様式 1-3)

福島県（いわき市）再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 26 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	放射線への理解を深める地域モデル事業	事業番号	(3)-12-1
交付団体		いわき市	事業実施主体（直接/間接）	いわき市（直接）	
総交付対象事業費		2,454（千円）	全体事業費	13,503（千円）	
再生加速化に関する目標					
<p>市が自主避難を要請した久之浜町末続地区では、同地区で生活する住民が自ら、地区内の放射線量の測定や専門家を招いての相談会などを行い、放射線に関する共通理解を深め、もって地域コミュニティの再生を目指している。</p> <p>当該事業は、これらの地域の自主的な取組を支援するとともに、事業の効果や課題を整理し、同様の課題を抱える地区の先駆的な取組となることを目標とする。</p>					
事業概要					
<p>いわき市北部に位置する久之浜町末続地区は、地震、津波の被害に加え、福島第一原子力発電所から 30 km 圏内に位置することから、市が自主避難を要請し、多くの住民が避難した。その後、事故から 3 年以上経過した現在も、子育て世代の帰還が進んでおらず、また、地区に戻った住民も、漠然と放射線に対する不安を抱えながら、生活している状況にある。末続地区では、住民自ら放射線量を測り、専門家に相談し、理解する自主的な取組を行ってきたが、情報発信の観点等からその取組を強化し、もって地域コミュニティの再生を目指すため、相談員たる区長のコーディネートの下、ボランティア、専門家等の協力も得ながら、地区住民（避難者を含む）を対象に次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・外部被ばく線量の測定・内部被ばく検査の実施・食品等の放射性物質検査の実施・専門家による個別相談会の実施・地区の取組及び放射線に関する情報発信					
当面の事業概要					
<p><平成 26 年度></p> <ul style="list-style-type: none">・個人線量計による外部被ばく線量の測定・食品等の放射性物質検査の実施・個別相談会の開催・地区の取組及び放射線に関する情報発信 <p><平成 27・28 年度></p> <ul style="list-style-type: none">・個人線量計による外部被ばく線量の測定・内部被ばく検査の実施（1 回／6 カ月）・食品等の放射性物質検査の実施・個別相談会の実施（1 回／2 カ月）・地区の取組及び放射線に関する情報発信（1 回／3 カ月）					
地域の再生加速化との関係					
<p>放射線の健康影響に係る不安を抱えながら生活する住民が、自ら放射線を測定すること等により実態を理解することで、本来の生活を取り戻す手助けとなる。また、末続地区から避難している住民、特に子育て世代が、この事業で発信される末続地区の放射線に係る情報を元に、地元への帰還を選択した場合、地域コミュニティの再生に資する。</p>					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					